

## 2009年9月 ITU-R SG1会合報告書

【会合名称】 ITU-R SG1 会合

(周波数管理に関する研究委員会)

【会期】 2009年9月24日～9月25日

【開催場所】 スイス・ジュネーブ ITU 本部

### 【概要】

本会合は、今研究期間における第2回会合である。42ヶ国の主管庁と15の認められた通信、放送、科学技術、工業団体、地域および国際機関並びに事務局より計136名が参加した。日本からの参加者は、山田電波監視官(総務省)、岩元係長(総務省)、小川(電波産業会)、小坂(NICT)、南(NICT)、嶋田(三菱電機)、森(ワシントンコアL.L.C)、の7名である。

WP1A、1B及び1Cからの寄書及び他グループからのリエゾン文書等を含め計47件の文書が入力され、新勧告案1件が採択され、通常の方法での承認手続に諮られることとした。なお、ITU-R決議1によるEditorialな勧告の修正1件が承認されている。また、新研究レポート7件が承認され、これに伴い既存勧告1件を削除することが採択された。新および改訂研究課題に関する入力文書はなかったが、作業終了等の理由で既存研究課題5件の削除が採択された。

### 1 WPの議長副議長の指名

入力文書 Doc.1/59

SG1の副議長の一人であるMr. Gharbawi(エジプト)の辞任にあたり、同国よりMr. Ismail A. Elghetanyを新副議長とすることが推薦、承認された。なお、シリアから賛成の旨の発言があった。

### 2 勧告案

WP1Cから提出された1件の新勧告案と1件の改定勧告案が採択された。なお、WP1AとWP1Bからは、SGでの採択を求める新あるいは改定勧告案の提出はなかった。

#### 2.1 WP1C関連新および改定勧告案

入力文書 Doc.1/71, 1/72

Doc.1/71はDVB-Tカバレッジ測定手法とこれに対する評価をとりまとめた新勧告案である。Editorialな修正がおこなわれ、採択された。シリアより内容を確認するのに1～2ヶ月が必要であるとし、Reservationされている(WP1C議長からは2年間にわたり議長報告に添付されていたとの説明)。1ヶ月後にApproval by correspondenceの手続きが取られることになった。

Doc.1/72は、勧告SM.1753(無線雑音計測)の改定案であり、古いANNEX Aは新ANNEX 1によって置き換えられている。用語の修正等が行われ採択され、Approval by correspondenceの手続きが取られることになった。

勧告名	表題	種別
SM.[DVB-Co verage]	DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	新勧告
SM.1753	Method for measurements of radio noise	改定

## 2.2 ITU-R決議1-5の § 11.5に基づく勧告のEditorialな修正

入力文書 Doc.1/62

Doc.1/62は勧告SM.1757(Impact of devices using ultra-wideband technology on systems operating within radiocommunication services)の被干渉システムの実験値などの修正を提案しており、ITU-R決議1-5の規定により承認された(次回の改定までSGがEditorialな修正をした旨のNoteが付けられる)。

勧告名	表題	種別
SM. 1757	Impact of devices using ultra-wideband technology on systems operating within radiocommunication services	改定

## 3 研究報告

### 3.1 WP1Aからの新研究報告案

入力文書 Doc.1/67

Doc.1/67は、PLTに関する新研究報告書案である。日本とシリアは本研究報告書採択についてはReservationし、脚注にその旨が明示された。日本からは、新報告書ドラフトの内容には異議があり、次期会合までに寄与文書を提出する意思が表明された、また、PLTはWRCアイテムではないためここで早急に承認が求められる必要はないと述べている。しかし、ドイツからは本活動は開始してからかなり時間が経つため何らかの報告書を提出する必要があると主張し、イランもこれに同調したことなどから、結局、本文書は承認された。

研究報告名	表題	種別
SM.[PLT]	Impact of power line telecommunication systems on radiocommunication systems operating in the LF, MF, HF and VHF bands below 80 MHz	新報告

### 3.2 WP1Bからの新研究報告案

入力文書 Doc.1/65, 1/77

Doc.1/65は、SDRとCRSの定義に関する新研究報告案であり、ITU-R全体で使われるべきSDRとCRSの定義を示しており、議題1.19の審議に重要な研究報告である。本研究報告案は承認された。

Doc.1/77はSRDの技術・運用パラメーターおよび周波数利用に関する新研究報告書案である。本研究報告書案は、勧告SM1538を研究報告書に変換したものである。若干のEditorialな修正を後で行うこととし、承認された。本文書が承認されたことにより勧告SM1538は削除されること

となり、別途決議ITU-R. 1-5に示される手続きが取られる。

研究報告名	表題	種別
SM.[SDR-CRS]	Definitions of Software Defined Radio (SDR) and Cognitive Radio System (CRS)	新報告
SM.[SRD]	Technical and operating parameters and spectrum use for short-range radiocommunication devices	新報告

### 3.3 WP1Cからの新研究報告案

入力文書 Doc.1/68, 1/70, 1/73, 1/74

Doc.1/68は、SRDのモニタリングに関する新研究報告書案である。シリア、イラン(議題1.22は Measurementを求めていることを念頭に)からはタイトルの Monitoringについて疑義が呈され、Measurementではないのかとのコメントがあった。イタリア、オランダ、米国から、本報告書の主旨は、あくまで既にSRDが割り当てられている周波数が実際にどれほど使用されているか、当該帯域が混雑しつつあるかなどを把握するための手法を提供することであると意見がよせられた。最終的にタイトルは「SRD周波数利用状況を計測する手法 (Short range radiocommunications device (SRD)- Spectrum Occupancy Measurement Techniques)」とすることで合意された。また、ロシアからは、全周波数を対象としていないのではないかと等の意見があり、内容を含めた議論があった。結果的に、本研究報告案の内容はExampleであるとし、さらに、「Typical values given in the Report are based on the example of a 863 - 870 Mhz monitoring campaign. For other frequency bands and SRDs in those bands, other value may be more appropriate without changing the basic measurement methodology.」を追加し、本文書は承認された。

Doc.1/70はHF帯域において人為的に発生される雑音の計測に関する新研究報告書案である。イラン、シリア、米、仏から用語、対象周波数、内容記述に関するコメントがあり、タイトルや記述内容の修正があり、承認された。

Doc.1/73は検査をサポートするための周波数モニタリングに関する新研究報告書案であり、特段の質疑なく承認された。

Doc.1/74はPLTの通信速度測定法に関する新研究報告書案である。NABAからレポート自体に反対しないが、IARU, CBSとともに放射特性の測定に関するStatementを文書に挿入したいとの要望を述べたが、SectorメンバーであることからSG1議長レポートもnoteし、本研究報告案は承認された。

研究報告名	表題	種別
SM.[SRD-MON]	Short-range device (SRD) monitoring	新報告
SM.[HF-MMN-MEASUREMENT]	HF man-made noise measurements	新報告
SM.[INSP]	The role of spectrum monitoring in support of inspections	新報告
SM.[PLT-MEASUREMENT]	Measurement methods for power line high data rate telecommunication systems	新報告

### 4 勧告、研究報告、研究課題の削除

入力文書 Doc.1/76

前述の勧告SM.1538が研究報告に変換されたため本勧告の削除のための手続きが取られるが、そのほかの勧告、研究報告の削除はない。

研究課題については、前回のソウル会合で設置されたラポータグループでの検討結果が入力され、承認された。なお、作業終了等の理由で削除された研究課題は以下のとおりである。なお、ラポータグループは今後も存続することとした。

Q 番号	タイトル
202-2/1	Identification and measurement of various interference sources to analogue and digital radiocommunication systems (according to their originating mechanism and interference effect)
215/1	Monitoring of the radio coverage of land mobile networks to verify compliance with a given license
220-1/1	Identification and characterization of various interference sources to analogue and digital radiocommunication systems (according to their originating mechanism and interference effect)
225/1	Inspection of radio stations to verify compliance with licence parameters
231/1	Measuring technique for measuring the noise floor in radio applications

## 5 他グループとの関係

会合の終了時間が迫っていたため、多くの文書については概要が簡単に紹介されたのみであった。

### 5.1 ITU-R,

入力文書 Doc.1/42、1/45、1/51、1/56、1/79

Doc.42(SG7)は、複数のWPが関与する事項についてのSG7の見解を示している。本件はここ数年各SGで議論されており、SG1議長からは、CVCでさらなる議論が必要との見解が示された。Doc.51(WP6A)についてはWP1A議長からすでに検討済みとの説明があった。Doc.56はITU-RではなくBRからの寄書であり、今年開催されたFSSに関するWorkshopの紹介である。

### 5.2 ITU-T

入力文書 Doc.1/38, 41, 46, 47, 48, 49, 50, 52, 57, 61, 69

出力文書 Doc.1/69

Doc.41はVehicle gatewayに関する文書であり、本件に熱心な韓国のDr. Ryuから紹介された。Doc.50については気候変動のテーマとの関わりから重要度が特に高い点が紹介された。ICTを活用した気候変動への対応は現在、ITUにて最も優先度の高いテーマのひとつとなっている。

Doc.47(ITU-T SG5)は、Resolution 72 “Measurement concerns related to human exposure to electromagnetic fields” approved by the WTSA-08に関する協力を求めるリエゾン文書であり、本文書に答えてWP1Cが作成したDoc.69が承認された。

### 5.3 ITU-D

入力文書 Doc.1/43, 44, 54, 60, 63, 78

出力文書 Doc.1/78

文書60は経済的側面に関わるので1Bにとって重要性が高いとされた(Report SM.2012に關係する)。また、Spectrum monitoringにも言及しており、これはWP1Cに關係する。Doc.78は本件に関わるSG1からのLSであり、このLSの返事はTimingの關係でWP1Bに送付することを要請することとした。なお、シリアの指摘を受けて、これもTimingの關係でWP1BからRes.9に同意する旨の返書を準備することとした。

#### 5.4 CISPR

入力文書 Doc.1/58

出力文書 Doc.1/64

文書番号と概要だけ簡単に紹介された。なお、PLTIに関する新研究報告を添付してCISPRに送付することとした。

#### 5.5 その他文書

入力文書 Doc.1/39, 40, 50

Noteされた

### 6 今後の予定

次回のSG1会合は2010年9月27～28日に予定されている。また、次回のWP1A、1Bは2010年2月1日～10日に、WP1C会合は2010年9月20～24日にオランダのアムステルダムで開催されている。

問題となったのは、CPM報告書を間に合わせるための第5回目のWP1A、1B会合を開くかである。当面2010年6月23日～30日として調整することになっているが、イランやシリアは他の会合とのオーバーラップを避ける必要を主張し、かつWRCの議題關係にのみ絞らなければ受け入れられないとしている。

入力文書

文書番号	提出元	表題
37	Chairman, SG 1	Summary Record of the meeting of Radiocommunication Study Group 1 (26-27 June 2008)
38	TSAG	Liaison statement on improved geographic distribution and coordination of ITU-T Seminars and Workshops
39	North American Broadcast ers Associatio n (NABA)	Broadcast spectrum sharing and protection
40	CBS, Inc.	Broadcast spectrum sharing and protection
41	ITU-T SG 16	Liaison statement to Study Groups in ITU and other Groups on progress achieved in the Ad Hoc - Group on Vehicle Gateway Platform (VGP)
42	SG 7	Liaison statement from Study Group 7 to Study Group 4 (and copy to SGs 1, 3, 5, 6 and for information to RAG) - Inter-working of Study Group 4 with other ITU-R Study Groups for issues involving Working Parties of more than one Study Group
43 +Add.1	ITU-D SG 2	Liaison statement - Resolution 9 (REV. DOHA, 2006), draft analysis Report of questionnaire part II
44 +Add.1	ITU-D SG 2	Liaison statement - Resolution 9 (REV. DOHA, 2006), draft guidelines for the establishment of a system of fees
45	WP 6A	Liaison statement to Study Group 1 and Working Party 1A - Coordination of studies on PLT systems
46	Chairman, ITU-T FG ICT & CC	Liaison statement - Questionnaire from ITU-T Focus Group on ICT and Climate Change
47	ITU-T SG 5	Liaison statement on ITU-T SG 5 actions related to WTSA Resolution 72
48	ITU-T SG 13	Liaison statement - Establishment of Focus Group on Future Networks (FG-FN)
49	ITU-T SG 16	Liaison statement to all ITU-T, ITU-R and ITU-D SGs on request for multimedia contact person
50	Chairman, ITU-R SG 1	Response to questionnaire from ITU-T Focus Group on ICT and climate change
51	Chairman, CCV	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties

文書番号	提出元	表題
52	ITU-T SG 2	Liaison statement on leading role of SG 2 on service definition
53	BR Study Group Department	ITU-R Study Group 4 Question to be brought to the attention of Study Group 1
54	ITU-D SG2	Liaison statement to relevant ITU-R and ITU-T Study Groups and the ITU Coordination Committee for Vocabulary (CCV) regarding draft list of terminology on emergency telecommunications
55	Director, BR	World Telecommunication Policy Forum 2009 (WTPF-09)
56	Director, BR	Summary notes on the BR Workshop on the efficient use of the spectrum/orbit resource
57	Chairman, ITU-T Focus Group on FN	Liaison statement - Report of the 1st meeting of the Focus Group on Future Networks (FG-FN)
58	Germany (Federal Republic of)	Protection of aeronautical radio services against emissions of electrical and electronic apparatuses
59	Chairman, ITU-R SG 1	Proposal for Mr. Ismail A. Elghetany to serve as Vice-Chairman of Study Group 1
60	Chairman, SG 1	Status of the third stage of the Report on WTDC-06 Resolution 9 (Rev.Doha, 2006)
61	Korea (Republic of)	Proposed liaison statement to ITU-T Study Group 16 on vehicle gateway platform (VGP)
62	WP 1A	Draft editorial modification to Recommendation ITU-R SM.1757 - Impact of devices using ultra-wideband technology on systems operating within radiocommunication services
63	Chairman, SG 1	Version 3.0 of the Spectrum Management System for developing countries
64	Rapporteur Group on liaison with CISPR	Report of the Study Group 1 Rapporteur Group on Liaison with CISPR
65	WP 1B	Draft new Report ITU-R SM.[SDR-CRS] - Definitions of Software Defined Radio (SDR) and Cognitive Radio System (CRS) □ □

文書番号	提出元	表題
66	Chairman, SG 1	Report of the Joint meeting of Working Parties 1A, 1B and 1C
67	WP 1A	Draft new Report ITU-R SM.[PLT] - Impact of power line telecommunication systems on radiocommunication systems operating in the LF, MF, HF and VHF bands below 80 MHz
68	WP 1C	Draft new Report ITU-R SM.[SRD-MON] - Short-range device (SRD) monitoring □ □
69	Chairman, SG 1	Draft reply liaison statement to ITU-T Study Group 5 - Actions related to WTSA-08 Resolution 72
70	WP 1C	Draft new Report ITU-R SM.[HF-MMN-MEASUREMENT] - HF man-made noise measurements
71	WP 1C	Draft new Recommendation ITU-R SM.[DVB-COVERAGE] - DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria
72	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1753 - Radio noise measurements
73	WP 1C	Draft new Report ITU-R SM.[INSP] - The role of spectrum monitoring in support of inspections
74	WP 1C	Draft new Report ITU-R SM.[PLT-MEASUREMENT] - Measurement methods for power line high data rate telecommunication systems
75		欠
76	Rapp. Group on ITU-R Questions	Preliminary review of ITU-R Questions assigned to Study Group 1
77	Rapp. Group on ITU-R Questions	DRAFT NEW REPORT ITU-R SM.[SRD] - Technical and operating parameters and spectrum use for short-range radiocommunication devices
78	WP1B	Draft reply liaison statement to ITU-D SG 2 - Resolution 9 (Rev.Doha, 2006), draft guidelines for the establishment of a system of fees
79	SG 1	Draft liaison statement to Coordination Committee for Vocabulary (CCV) - Proposed definitions for "Software Defined Radio (SDR)" and "cognitive Radio System (CRS)"
80	Chairman, WP 1A	Executive Report of the meetings of Working Party 1A (Seoul, 25 February to 4 March and Geneva, 16 to 22 September 2009)
81	Chairman, WP 1B	Executive Report of the meetings of Working Party 1B (Seoul, 25 February to 4 March and Geneva, 17 to 23 September 2009)
82	Chairman, WP 1C	Executive Report of the meeting of Working Party 1C (Geneva, 16 to 22 September 2009)



文書番号	提出元	表題
83	BR Study Group Department	List of documents issued
84	Director, BR	Final List of Participants - Study Group 1 (24-25 September 2009)